セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1 製品識別名

製品名	M-Coat C
化学物質名	混合物。
CAS 番号	混合物。
EINECS 番号	混合物。
ＲＥＡＣＨ登録番号	割り当てられていない。

1.2 当該物質または混合物の記載されている重要用途および指導対象の用途

記載されている用途	被覆・ 塗装・ 充填・ パテ・ シンナー.
～に対して助言された用途	知られていない。

1.3 安全性データシート供給者の詳細

会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire イギリス RG24 8FW
電話	+44 (0) 1256 462131
Ｆａｘ	+44 (0) 1256 471441
Ｅメール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com

1.4 緊急電話番号

(00-1) 703-527-3887

CHEMTREC

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

2.1.1 欧州ＣＬＰ規則 (No.1272/2008)

Flam. Liq. 3; H226
Asp. Tox. 1; H304
Skin Irrit. 2; H315
Skin Sens. 1; H317
Eye Irrit. 2; H319
STOT SE 3; H335
STOT RE 2; H373

2.2 表示要素

欧州ＣＬＰ規則 (No.1272/2008) によれば

製品名 M-Coat C

危険性を表す絵文字

注意喚起語	危険
次を含有する:	キシレン, Solvent naphtha (petroleum), light aliph. と Trimethoxy(methyl)silane
危険有害性情報	H226： 引火性の液体及び蒸気。 H304： 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 H315: 膚刺激性。 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H319： 強い眼刺激。 H335: 呼吸刺激を起こすおそれ。 H373: 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ。
危険有害性情報	P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。 P260: 蒸気を吸入してはならない。 P305 + P351 + P338： 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P302+P352: 皮膚に触れた場合：水でよく手を洗うこと。 P301+P310: 飲み込んだ場合：中毒センター、医師、または、に連絡すること。 P331: 無理に吐かせない。
追加情報	なし。

2.3 **他の危険有害性** 水または湿気を含んだ空気と接触するとメタノ＜汲I生成します。

セクション 3: 組成/成分情報

3.1 **物質** 該当なし。

3.2 **混合物** 製剤/混合物中の物質

EC 分類 欧州ＣＬＰ規則（No.1272/2008）

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	ＲＥＡＣＨ登録番号	危険有害性分類
Dimethyl Siloxane, Hydroxy-Terminated	< 65	70131-67-8	-	割り当てられていない。	分類されていない。
キシレン	25	1330-20-7	215-535-7	割り当てられていない。	Flam. Liq. 3; H226 Asp. Tox. 1; H304 Acute Tox. 4; H312 Skin Irrit. 2; H315 Eye Irrit. 2; H319 Acute Tox. 4; H332 STOT SE 3; H335 STOT RE 2; H373
Trimethylated Silica	< 25	68909-20-6	272-697-1	割り当てられていない。	分類されていない。
Solvent naphtha (petroleum), light aliph.	10	64742-89-8	265-192-2	割り当てられていない。	Asp. Tox. 1; H304 *
Trimethoxy(methyl)silane	5 - 10	1185-55-3	214-685-0	割り当てられていない。	Flam. Liq. 2; H225 Skin Sens. 1; H317

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション１６を参照する。

*次を含有する: < 0.1% ベンゼン

セクション 4: 応急処置

4.1 応急処置の説明

最初の救助者自身の保護

蒸気を吸入してはならない。 適切な保護衣を着用する。 高濃度の物質に暴露する恐れがある場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

吸入

吸い込んだ場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすいよう安静にすること。 気道を開いた状 態に維持する。 襟､ネクタイ､ベルト､ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。呼吸困難の場合は、専門要員が酸素を与える。 体調に異変があった場合は、中毒センターまたは医師に連絡すること。

皮膚接触

皮膚に付着した場合： 汚染された衣服を直ちに除去し、接触した皮膚の部分を大量の水で洗い流してから、さらに石鹸水で洗う。 汚染された衣服は、再利用の前に洗濯しなければなりません。 皮膚が刺激された場合：医師の診断/手当てを受けること。

目の接触

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 目の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

摂取

飲み込んだとき： 口をゆすぐこと。 牛乳またはアルコ＜笈□ｿを飲ませないでください。 意識の無い場合は口から何も与えてはならない。 直ちに中毒センターまたは医師に連絡すること。 無理に吐かせない。 自然に嘔吐する場合は、頭部を腰の高さよりも低く保ち、肺に吸引しないようにしてください。 肺への吸

入が化学肺蔵炎を誘発し、致命的になることがある。

4.2 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。 膚刺激性。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 重大な目への刺激を引き起こす。 呼吸刺激を起こすおそれ。 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ。 製品がメチルアルコ < 汲· J生し、それにより失明したり神経系を損傷することがあります。

4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

症状によって処置する。

セクション 5: 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

周辺の火災に適切な。 消火剤: 水噴霧、粉末または炭酸ガス。

不適切な消火剤

ウォ-タ-ジェットを使用しない。 直接水を噴射すると火炎が広がることがあります。

5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性

引火性の液体及び蒸気。 火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。 二酸化ケイ素, 酸化ケイ素, 酸化炭素および微量の不完全燃焼した炭素化合物. 空気存在下で温度が 180℃を超えると製品がホルムアルデヒド蒸気を放出することがあります。ホルムアルデヒド蒸気は発癌物質の疑いがあり、吸入すると中毒を起こします。また眼および呼吸器系を刺激します。暴露限界は厳密に遵守してください。 蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。 火災時、容器が破裂することがあります。

5.3 消防士へのアドバイス

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。 フュームを吸入してはならない。 火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。 水路や下水への混入を避けること。

セクション 6: 漏出時の措置

6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

適切な換気を確保する。 安全に対処できるならば漏洩をとめる。 安全に対処できるならば全ての着火源を取り除く。 全ての接触を避けること。 蒸気を吸入してはならない。 必要な個人用保護具を使用する。 次の項を参照: 8. 蒸気は空気より重い; くぼみと閉鎖空間に気を付ける。

6.2 環境的予防措置

環境に排出しないようにする。 排水路、下水道または水路に入らないようにする。

6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材

流出物をとり除く間、(呼吸装置を含む)全身用保護具を着用する。 安全に対処できるならば漏洩をとめる。 風上にいるようにする。 引火性漏洩物を回収するときには、無火花機器を使用すること。 流出物を砂、土または適切な吸収剤に吸収させる。 廃棄用またはリサイクル用のふたの付いた容器に移す。 区域を換気し、物質の回収が終わったら漏洩場所を洗浄してください。 この素材と容器は、危険廃棄物として廃棄すること。

6.4 他のセクションの参照先 次の項を参照: 8, 13

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

7.1 安全な取り扱いのための注意事項

適切な換気を確保する。 全ての接触を避けること。 蒸気を吸入してはならない。 必要な個人用保護具を使用する。 次の項を参照: 8. 本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。 休憩前及び作業後には手を洗うこと。 熱、高温の物、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。 湿気との接触を避けてください。

7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

他の容器に移し替えてはならない。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 熱、高温の物、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。

保管温度: 常温の。 次の値を超えない温度℃で保管する： 27

保管期間: 普通の状態で安定。

混触危険物質: 次のものから離して保管する。 酸化剤類。. 水または湿気を含んだ空気と接触するとメタノ＜汲I生成します。

7.3 具体的最終用途 被覆･ 塗装･ 充填･ パテ･ シンナー.

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1 管理指標

8.1.1 職業暴露限度

物質	CAS 番号	長期暴露限界(8 時間 TWA ppm)	長期暴露限界(8 時間 TWA mg/m3)	短時間暴露限界 (ppm)	短時間暴露限界 (mg/m3)	参照
キシレン (全異性体およびその混合物)	1330-20-7	50	217	-	-	JSOH

参照: 許容濃度等の勧告 (2015 年度) , 平成 27 年 5 月 14 日日本産業衛生学会 (産衛誌 57 巻 , 2015)

8.1.2 生物学的限界値

物質	CAS 番号	試 料	物 質	生物学的許容値	試料採取時期
キシレン (全異性体およびその混合物)	1330-20-7	尿	総メチル馬尿酸 (o-, m-, p- 三異性体 の総和)	800 mg/l	週の後半の作業終了時

参照: 許容濃度等の勧告 (2015 年度) , 平成 27 年 5 月 14 日日本産業衛生学会 (産衛誌 57 巻 , 2015)

8.1.3 PNEC および DNEL 確立されていない。

8.2 暴露管理

8.2.1 適切な工学的管理

適切な換気を確保する。 または 適切な封じ込めを行うこと。 職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。 作業場所の近くに洗眼設備と安全シャワーを確保すること。

8.2.2 個人用保護具（ＰＰＥ）などの個人保護措置

化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。 全ての接触を避けること。 蒸気を吸入してはならない。 休憩前及び作業後には手を洗うこと。 作業着は分けて保管すること。 汚染された衣服は、再利用の前に洗濯しなければなりません。 作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。

目/顔面の保護

液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用すること。 側板付き保護めがね（EN166）を着用すること。

皮膚の保護

手の保護: 不浸透性手袋を着用すること。 浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に交換すること。 手袋素材の浸透時間：手袋メーカーの情報を参照。 推奨: ネオプレン。

体の保護: 長靴、白衣、前掛ッまたはつなぎ服を含む不浸透性の防護衣を適宜着用して、皮膚に接触しないようにしてください。推奨: ネオプレン。

呼吸器の保護

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。 職業暴露限度を超過する濃度に暴露するようなら、適切な呼吸用保護具を着用する。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。 開放系: 適切な呼吸用保護具を着用する。 自給式呼吸器が適切なことがある。

熱の危険性

該当なし。

8.2.3 環境暴露コントロール

環境に排出しないようにする。

セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観	乳白色 / 透明な 液体。
におい	ナフタレン におい
臭いの閾値	資料なし。
pH	確立されていない。
融点/凝固点	資料なし。
初留点と沸騰範囲	107℃
引火点	>23℃
蒸発速度	0.6 (BuAc = 1)
燃焼性（固体、ガス）	該当なし。 - 液体。

上限/下限可燃性または爆発限界	爆発限界下限値(%v/v): 0.9 爆発限界上限値(%v/v): 6.0
蒸気圧	25 (mmHg @ 20℃)
蒸気密度	3.7 (航蟻 ir = 1)
相対密度	0.85 (H_2O = 1)
溶解度	この物質は基本的に水に溶解しない。
分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
自然発火温度	資料なし。
分解温度	資料なし。
粘度	資料なし。
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。

9.2 その他の情報

揮発性有機化合物の含有量: 300 g/L

セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性

普通の状態で安定。

10.2 化学的安定性

普通の状態で安定。

10.3 危険な反応の可能性

引火性の液体及び蒸気。 水または湿気を含んだ空気と接触するとメタノ < 汲I生成します。

10.4 避けるべき条件

熱、高温の物、火花、裸火などの着火源から遠ざけること。禁煙。

10.5 混触危険物質

次のものから離して保管する。 酸化剤類。. 湿気との接触を避けてください。

10.6 危険有害性分解生成物

火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。 二酸化ケイ素, 酸化ケイ素, ホルムアルデヒド, 酸化炭素および微量の不完全燃焼した炭素化合物。

セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)

急性毒性

摂取	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日.
吸入	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 20.0 mg/l.
皮膚接触	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日.
皮膚腐食性/刺激性	Skin Irrit. 2: 膚刺激性。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	Eye Irrit. 2: 重大な目への刺激を引き起こす。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	Skin Sens. 1: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
生殖細胞変異原性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

	発がん性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	生殖毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
	特定標的臓器への毒性 (単回暴露)	STOT SE 3: 呼吸刺激を起こすおそれ。
	特定標的臓器への毒性 (反復暴露)	STOT RE 2: 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ。
	吸引性呼吸器有害性	Asp. Tox. 1; 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
11.2	その他の情報	なし。

セクション 12: 環境影響情報

12.1	毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 推定 混合物。 LC50 >100 mg/l (魚類)
12.2	残留性および分解性	成分の一部が生分解性である。
12.3	生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性が低い。
12.4	土壌中の移動度	製品は土壌中で移動性が低いと予想される (水に不溶) 。
12.5	PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6	その他の有害な作用	知られていない。

セクション 13: 廃棄上の注意

13.1	廃棄物処理法	この物質や容器は有害廃棄物として処理する。 廃棄物は、承認された廃棄物処理施設に廃棄すること。
13.2	追加情報	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

セクション 14: 輸送上の注意

		ADR/RID / IMDG / IATA
14.1	国連番号	UN 1993
14.2	適切な船積み名	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S (キシレン)
14.3	輸送危険分類	3
14.4	輸送危険分類	III
14.5	環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない。/環境的に有害な物質.
14.6	使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2
14.7	MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。
14.8	追加情報	なし。

セクション 15: 適用法令

15.1 特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

15.1.1 ＥＵ規制

高懸念物質 (SVHCs)	なし。
使用の承認および/または制限	なし。

15.1.2 国の規制

Wassergefahrdungsklasse(ドイツ)	水質危険クラス： 2

15.2 化学物質安全性評価 資料なし。

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献： 既存の安全デ < ^シ < g(SDS), 調和した分類 Xylene (CAS# 1330-20-7) と Solvent naphtha (petroleum), light aliph. (CAS# 64742-89-8). 既存の ECHA 登録 Xylene (CAS# 1330-20-7), と 以下の分類・表示インベントリ Trimethylated Silica (CAS# 68909-20-6), Trimethoxy(methyl)silane (CAS# 1185-55-3) と Dimethyl Siloxane, Hydroxy-Terminated (CAS# 70131-67-8).

物質または混合物の分類 欧州ＣＬＰ規則（No.1272/2008）によれば	分類手順
Flam. Liq. 3; H226	沸点(℃)/ 推定 引火点 [クロ-ズド カップ] テスト結果
Skin Irrit. 2; H315	閾値計算
Skin Sens. 1; H317	閾値計算
Eye Irrit. 2; H319	閾値計算
STOT SE 3; H335	閾値計算
特定臓器毒性(反復暴露） 区分 2 ; H373	閾値計算

注釈

LTEL: 長期暴露限界

STEL: 短時間暴露限界

DNEL: 求められた無影響量

PNEC: 推定無影響濃度

PBT：難分解性、生物蓄積性、毒性

vPvB: 高難分解性、高生物蓄積性

危険有害性情報

H226： 引火性の液体及び蒸気。

H225: 引火性の高い液体および蒸気。

H304： 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

H312： 皮膚に接触すると有害。

H315: 膚刺激性。

H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H319： 強い眼刺激。

H332： 吸入すると有害。

H335: 呼吸刺激を起こすおそれ。

H373： 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ。

研修アドバイス：検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順で関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件（法的なあるいはそうでない）はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません（欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き）。特許、著作権および意匠のもと自由な使用権があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS）の付録

利用可能な情報なし。

Disclaimer

ALL PRODUCTS, PRODUCT SPECIFICATIONS AND DATA ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.

Vishay Precision Group, Inc., its affiliates, agents, and employees, and all persons acting on its or their behalf (collectively, "VPG"), disclaim any and all liability for any errors, inaccuracies or incompleteness contained herein or in any other disclosure relating to any product.

The product specifications do not expand or otherwise modify VPG's terms and conditions of purchase, including but not limited to, the warranty expressed therein.

VPG makes no warranty, representation or guarantee other than as set forth in the terms and conditions of purchase. **To the maximum extent permitted by applicable law, VPG disclaims (i) any and all liability arising out of the application or use of any product, (ii) any and all liability, including without limitation special, consequential or incidental damages, and (iii) any and all implied warranties, including warranties of fitness for particular purpose, non-infringement and merchantability.**

Information provided in datasheets and/or specifications may vary from actual results in different applications and performance may vary over time. Statements regarding the suitability of products for certain types of applications are based on VPG's knowledge of typical requirements that are often placed on VPG products. It is the customer's responsibility to validate that a particular product with the properties described in the product specification is suitable for use in a particular application. You should ensure you have the current version of the relevant information by contacting VPG prior to performing installation or use of the product, such as on our website at vpgsensors.com.

No license, express, implied, or otherwise, to any intellectual property rights is granted by this document, or by any conduct of VPG.

The products shown herein are not designed for use in life-saving or life-sustaining applications unless otherwise expressly indicated. Customers using or selling VPG products not expressly indicated for use in such applications do so entirely at their own risk and agree to fully indemnify VPG for any damages arising or resulting from such use or sale. Please contact authorized VPG personnel to obtain written terms and conditions regarding products designed for such applications.

Product names and markings noted herein may be trademarks of their respective owners.

Copyright Vishay Precision Group, Inc., 2014. All rights reserved.